



月1回15日発行

発行人 金子 彰  
編集人 丸山 巧

# 日教組 埼玉教組 ニュース

JTU

発行所 埼玉教職員組合 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町3-13-10 ヤギシタビル4F TEL 048(823)4061 FAX 048(823)4062

(URL)http://www16.ocn.ne.jp/~stu/

(E-mail)stuurawa@peach.ocn.ne.jp



## 教え子を再び戦場に送るな!

私たちは、認めない!! 解釈改憲!! 集団的自衛権!!



閣議決定の日抗議行動

7月1日、安倍政権は、自民党公明党の合意にもとづき集団的自衛権の行使にむけた憲法解釈を変更する閣議決定を強行した。今回の閣議決定は、日本への攻撃がなくても「密接な関係にある他国に対する武力攻撃」によって「我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由および幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある場合」に、「他に適当な手段がない」とき「必要最小限度の実力を行使」できる、いわゆる集団的自衛権の行使を容認するものであり、歴代内閣が30年以上にわたり「憲法上許されない」としてきた憲法解釈を変更するものである。



抗議行動に参加する組合員

の本質は、自国が攻撃を受けた場合に限定することなく、武力の行使を可能とする根本的な原則の転換にある。政府は、今まで「専守防衛」に徹し自衛隊を「自衛のための最小限度の実力」として、9条2項に違反しないものとしてきたが、その自らの理屈すら破綻させることになる。今回の閣議決定は、明らかな憲法9条違反である。

さらに、戦争放棄を定めた憲法の根幹に関わる変更を、一内閣が閣議決定による憲法解釈の変更で行うことは、憲法99条が求める憲法尊重擁護義務に反し、立憲主義を根底から覆すものである。また、「安全保障法制整備に関する与党協議会」など、国民不在の密室で行われた議論をもとに閣議

決定のみで憲法解釈を変更することは、行政権を優越することにより三権分立と議会制民主主義の根幹を破壊するものであり、国会と主権者である国民を蔑ろにするものと断ぜざるを得ない。安倍首相が、自らの信念のみに固執し国民を欺き、その多くの批判の声を無視して憲法を蹂躪することは断じて容認できない。

集団的自衛権を行使することは、戦争をするために海外の戦闘地域に自衛隊を派遣することである。集団的自衛権の行使が容認されれば、日本が外国の戦争に参加し、その結果、国民が再び戦争によって大変な被害をこうむることになる。

日教組は、安倍政権の蛮行に満身の怒りをもって抗議する。今後、憲法9条違反の閣議決定の撤回を求めるとともに、平和フォーラムや戦争をさせない1000人委員会等と連携し、臨時国会における自衛隊法など関連法案の「改正」阻止のたたかいをより広範に展開する。そして、「教え子を再び戦場に送るな」の決意のもと、憲法の理念を守り戦争をさせないため、暴挙をくりかえす安倍自民党の政権交代を求めていく。

※日教組書記長談話(7月2日)より抜粋

### 羅針盤

「大田堯さん・映画とトークの集い」に参加した。400名近くの市民、学生、教職員など幅の広い参加者で会場は立ち見も出るほどの大盛況。この3月に96歳になられた大田先生は、以前から全集や選集の出版を固辞されてきていたのであるが、今回「自撰集成」全4巻の発刊を決意

した理由を「与党多数、第二次安倍政権成立以来の危機感によるものだ」と述べられた。▶哲学者である高橋哲哉さんとの熱のこもった対談では、学習権の考え方を広め、一人一人の子どものみならず、大人を含めたすべての人にかかわり生命の本質に根差した教育観の転換を進めなければならないと強調された。▶自分の内面にある、自分本位の同化に傾いている私たち自身の、

内面にある「教育」の既成概念を克服することをめざして、自然の生命が求める教育とは何かを考える必要がある。▶安倍「教育改革」で、教育予算OECD最低基準のまま、政権の意図に同化、同調を求める上から下への教育体制づくりに断固対抗していくには、私たち、教職員の中にも深く入り込んでいる同化主義を剥いていく地道なとりくみが強く求められよう。

# 教文部長会議開催

## 本年度の支部教研、 県教研明らかに

7月2日、ヤギシタビル会議室において、教文担当  
者会議が開催され、各支部の教文部長、及び高  
教組の教文部長が参加し、本年度の教研活動につ  
いての確認が行われました。今後、教文だより「子  
どもに寄り添う」を発行し、組合員に幅広く、参  
加を呼び掛けていくことになりました。一人でも  
多くの参加者、また一本でも多くのレポートを期  
待します。各教研集会上に気軽に参加して下さい  
ようよろしくお願いいたします。



### 【支部教育研究集会】

比企支部…10月11日(土) 新明小学校

記念講演 高嶋伸欣さん

児玉・大里支部…10月18日(土) 児玉教育会館

南・埼玉支部…10月18日(土)

ヤギシタビル会議室

入間支部…10月26日(日) 坂戸・オルモ会議室

さいたま市教組…8月22日(金) 浦和コミセン

### 【県教育研究集会】

11月9日(日)国立女性教育会館又エック

【全国教育研究集会2014年】日時場所未公表

【全国研究集会埼玉還流集会】

2014年2月28日(土) 場所未定

### 【教育研究まとめ集】

「かわりあいの知恵」第13号発行予定

# 学校事務職員の職務確立を!!

## 事務職員部定期大会開催

7月5日、埼玉教組大会議室を会場に、事務職員部定期大会が  
開催されました。本部から倉持副委員長、丸山書記長が参加し、  
中央情勢報告を行いました。第一号議案(2014年度運動方針)では、学校事務職  
員の職務確立に關し、再任用制度の充実の問題、給与事務システ  
ム改革の問題、時間外手当の支給問題等に活発な意見が出されま  
した。特に再任用のフルタイム2級については、地公労とも運動  
させ、3級にさせるたたかいを強めることを確認しました。第三  
号議案(当面の運動)で「①「賃金・職務内容の確立」等の改善  
を求め、県教委交渉を行います。②「学校事務の共同実施」制度  
について、現学校事務職員制度を守りながら、各地域で積極的  
に取り組みます。③組合員拡大のとりくみを強めます。」を承認。町  
分君恵部長、滝沢千恵美副部長をはじめ、役員を承認して定期大  
会は終了しました。

# 7月中旬～8月中旬活動予定

### 【7月】

- 17日(木) 日教組中央委員会
- 21日(月) 集団的自衛権行使容認に反対する  
さいたま市民集会 北浦和公園 10:00
- 22日(火) 第9回中央執行委員会
- 〃 県教委交渉(人事課題)
- 〃 連合埼玉官公労委員会



- 24日(水) 連合埼玉政策制度委員会
- 25日(金) 日政連会議・青年部関東ブロック会議～27日
- 26日(土) 日教組養護教員部研究集会～28日
- 27日(日) 原水禁世界大会・福島大会
- 28日(月) 日教組障がい児教育部関東ブロック教育学習会  
埼玉・又エック～29日

- 29日(火) 人勤期中央行動 日比谷野音
- 30日(水) 日教組政令指定都市権限移譲問題会議
- 31日(木) 全国母女各県代表者会議
- 〃 海外で戦争する国づくりNO!集会 埼玉会館

### 【8月】

- 1日(金) 全国母と女性教職員の会集会～1日 東京
- 〃 第55次日教組全国学校事務研究集会～3日 北海道
- 〃 日韓合同授業研究会第20回埼玉交流会～4日 又エック
- 2日(土) 第9回中央執行委員会 (街頭宣伝活動)
- 3日(日) 両性の自立と平等をめざす教育研究会～4日 東京
- 4日(月) 第21回ヒロシマに学ぶ埼玉子ども代表団～6日 広島
- 7日(木) 関東ブロック母と女性教職員の会集会～8日 千葉
- 11日(月) 関東大震災朝鮮人虐殺現地調査
- 17日(日) 日教組関東ブロックカリキュラム編成講座～18日 群馬
- 23日(土) 埼玉教組組織宿泊・学習会 川越 伊佐沼
- 24日(日) 埼玉教組第51回中央委員会・組織拡大代表者会議



# 第25回養護教員部 定期大会開催



子どもの生命と健康を  
守る教育を推進!!

集団的自衛権で議論が沸騰する情勢下でした  
が、6月28日、比企教育会館を会場に第25回養  
護教員部定期大会が開催されました。大会は、開  
会宣言の後、本部から倉持副委員長が中央情勢報  
告を行い、質疑応答が行われました。その後、杉  
田部長が2013年度の経過と報告を行い、その  
後、予算案、方針案等が提案され、子どもの生命  
と健康を守る教育を推進するとともに、養護教員  
の悩みや不安を解消し、要求を実現できるよう運  
動をすすめるという柱にそって、いずれも原案通  
りに承認され、杉田部長再任の下、新年度体制が  
確立されました。

# 第26回埼玉教組定期大会開催

## 手を携えて、組合活動の充実をはかろう!!



6月14日(土)国立女性教育会館で、第26回の埼玉教組定期大会が開かれました。

大会には、来賓に小林連合会長、持田平和フォーラム議長をはじめ多数の労働組合の仲間の代表、民主党から山根前参議院議員、社民党から武井坂戸市議をはじめ、市町議員が参加され、挨拶をいただきました。知事、県教育長、他県教組などから多数のメッセージもいただきました。また、大会には、各支部から代議員が参加し、多くの討論の中で、原案通り、今年度方針を決定しました。

金子委員長は、冒頭の挨拶で、集団的自衛権の問題、教科書採択の問題、就学支援の問題等をとりあげ、この国の危機的な現状を厳しく指摘しました。

集団的自衛権の問題では、「憲法の解釈変更は、民主的な手続きを取り崩す」ものであるとのニューヨークタイムズの記事を紹介、また、教科書の採択問題では、「権力に都合のよい教科書しか使わせないとするのは、もはや教育ではない。国民主権を否定する戦後民主主義に対する挑戦である」と厳しく批判しました。

総括や、運動方針についての討論では、代議員から次のような意見が出ました。  
\*再任用を希望したら、校長から「あまりやってほしくない」、「君が入ると若い人が入れないんだよね。」などという暴言がある。\*20年研修において、講師となったある会社の社長が、「リーダーになるには、リーダーの言うことを聞かなくてはなりません。」という発言を行っている。\*フッ素洗口の問題について、ある会議で反対の立場で発言したら、「もう来なくていい。」

と言われた。\*ある調理師学校では、「外国人は入学できない。」という差別的な扱いをしたが、後で撤回した。\*割り振り変更簿が適切に使用されていない実情がある。各教育事務所がしっかりと点検するようにしてもらいたい。\*(集団的自衛権の問題に絡めて、授業で平和教育をしつかりと実践し、平和の種をまいていきたい。

このような意見が出る背景には、多くの場で民主的な考え方を弱めていこうとする強者の論理がまかり通る社会の変化があります。この現状を、委員長の挨拶や、執行部と代議員とのやりとりの中で確認し合い、今の反民主主義的な行動に対して、運動として力強くノーという意思表示をしていくことを確認し合いました。

私たちの掲げるスローガンである「教え子を再び戦場に送るな」の重要性がますます増してきています。具体的な運動やり遂げ、私たち自身の生活や子どもたちの未来を守っていきましょう。

## 政策フォーラム

## 2014平和集会

5月21日、さいたま共済会館及びあけぼのビルを会場に140人が集まり、連合埼玉政策フォーラムが開催されました。全体会ではチェンジ・



ドット・オーク日本法人代表のハリス鈴木絵美さんが「最近の若者はダメだと思いませんか? =若者離れが進む組織がまず変えなくてはいけない5つのこと=」と題し、示唆に富んだ講演を行いました。

午後からは、4つの分科会(A「共生社会をめざして」B「見直す防災・減災」C「働くことと介護を両立させる仕組み」D「いじめ・自殺・不登校・虐待をなくそう」)に分かれて、熱心に話し合いが行われました。D分科会では、スクールカウンセラーや教員も参加し、講師のSCの問題提起を受けてよりよい相談制度を県や市町村要請につなげ実現させるとりくみにすることが確認されました。

## 連合埼玉の運動から



参加した組合員(丸木美術館前にて)

6月7日、埼玉ピースミュージアム、吉見百穴地下軍需工場跡地、原爆の図「丸木美術館」をめぐり、平和について考える連合埼玉2014平和集会が開催されました。この企画には、埼玉教組を含め、100名近くの連合埼玉組合員が参加しました。参加者からは、「原爆の図が衝撃的だった」「平和は与えられるものでなく、一人一人がつくりあげていくものだと感じた」「戦争の恐ろしさを伝え、平和を常に追求するために、武力放棄という知恵を選択した世代の思いを重く受け止めた」等々の感想が寄せられました。



さいたま市民会館おみや

## 集団的自衛権に抗議し、東京、

## 各地で反対の運動が広まる!!

埼玉県では、6月7日、さいたま市民会館おみやで、「戦争をさせない埼玉1000人委員会」が設立集会を行いました。呼びかけ人は、石田貞(埼玉教育フオーラム共同代表) 伊藤修(埼玉大学教授) 江野本啓子(1女性会議埼玉県本部議長) 片岡明幸(部落解放同盟埼玉県連委員長) 鎌倉孝夫(埼玉大学名誉教授) 小寺隆幸(原爆の凶丸木美術館理事長) 斎藤紀代美(外国人学校・民族学校の制度的保障を実現するネットワーク・埼玉) 坂本洋子

で、「戦争をさせない埼玉1000人委員会」が設立集会を行いました。呼びかけ人は、石田貞(埼玉教育フオーラム共同代表) 伊藤修(埼玉大学教授) 江野本啓子(1女性会議埼玉県本部議長) 片岡明幸(部落解放同盟埼玉県連委員長) 鎌倉孝夫(埼玉大学名誉教授) 小寺隆幸(原爆の凶丸木美術館理事長) 斎藤紀代美(外国人学校・民族学校の制度的保障を実現するネットワーク・埼玉) 坂本洋子

八(共生共育研究所代表) 高橋哲哉(東京大学大学院教授) 只松千恵子(詩人) 田中重仁(弁護士) 日森文尋(朝鮮の自主的平和統一支持日本委員会議長) 前田哲男(ジャーナリスト) 持田明彦(埼玉県平和運動センター議長) の方々。設立集会では、呼びかけ人代表挨拶の後、経過と設立の報告、今後の運動提起が県平和センター事務局長からあり、「戦争をさせない

## 国会周辺で激しい抗議行動

国会周辺では6月中旬から連日の抗議行動が行われ、埼玉教組からも多数の組合員が参加。特に6月19日、30日、7月1日、3日など埼玉教組の旗を掲げて閣議決定策動反対、及び抗議に積極的に参加しました。



院内集会で挨拶する 日政連 神本参議院議員

6月19日には、衆議院第一議員会館で集会有り、日政連の神本参議院議員、なたにや参議院議員も連帯の挨拶をしました。

6月20日には、「集団的自衛権」行使の閣議決定を許すな! 1000人委員会による連続行動が行われ、「戦争をさせない全国署名」175万人分が提出されました。

7月3日、東京星陵会館では、安倍政権の憲法破壊を許すな! 戦争をさせない1000人委員会7.3集会在開催されました。主催者あいさつ後の講演では、講師: 高橋哲哉さん(東京大学教授)(写真▼)が、安倍政権の暴挙は、底なしのモラルハザードであるとし、戦後



政治史上最悪の反則であると断じました。集会終了後、移動して、官邸前での抗議行動が行われました。

## 原発再稼働させるな! さようなら原発 首都大行進に5500人

雨が激しく降る東京、明治公園に続々と集まる人々、6月28日。集会が始まって1時間が経つと、天気も味方してか、日差しがさす良い天気になりました。九州電力川内(せんだい)原発1、2号機(鹿児島県)の再稼働反対を訴えようと、「川内原発を再稼働させるな! 6・28 さようなら原発、首都大行進」集会が全国から5500名を集めて開催されました。経済評論家の内橋克人さんは「集団的自衛権の先に待っているのは、核兵器を持つて抑止力にしようという政策であり、原発は『プルトニウムをつくる



装置』でもある。原発を止めることは日本の核武装に待ったをかけることだ」と強く訴えました。中山千夏さんも連帯のあいさつ。続いて、鹿児島県で川内原発の再稼働に反対している市民団体事務局長の野呂正和さんは、原発事故が起きたときの地元自治体の避難計画について、「皆さんであり、絶対に動かさないために頑張ろう」と訴えました。埼玉教組からも組合員や退教の仲間が多数参加して、「再稼働反対」とシユプレヒコールを繰り返しつつ、買い物客でにぎわう表参道や原宿駅近くをデモ行進しました。(写真)